MATLAB講習

外本•坂東研究室

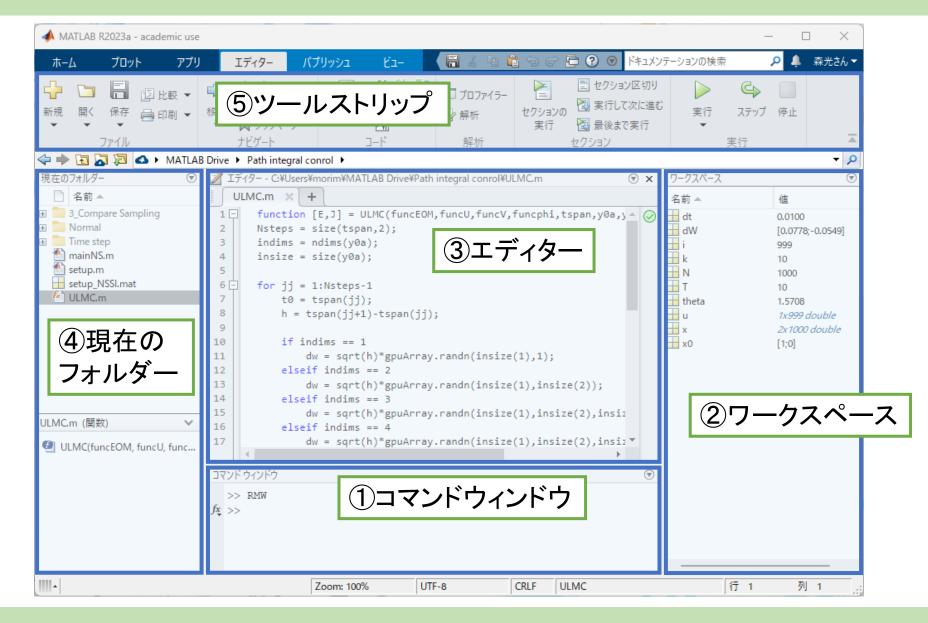
MATLABとは

米Mathwork社が開発する技術計算のための高性能言語

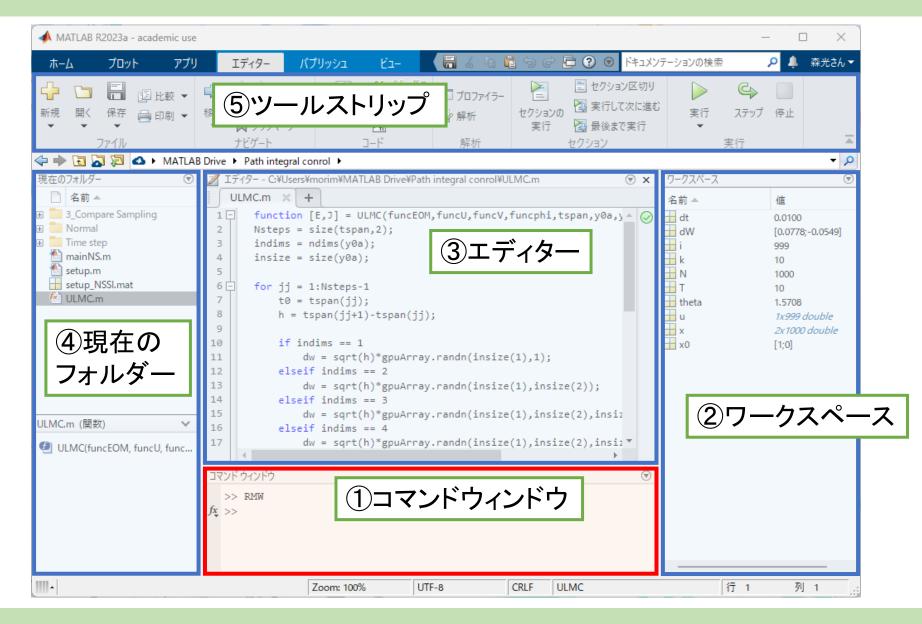
特徴

- 対話形式でひとつずつ命令を実行することも、命令をまとめて プログラムすることもできる
- 変数宣言が不要で、C言語などに比べて少ない労力で数値計算 を実装しやすい
- ベクトルや行列計算に向いている
- 関数ライブラリ,グラフィックツールが豊富で,グラフ表示機能なども充実している

画面



①コマンドウィンドウ



(1)コマンドウィンドウ

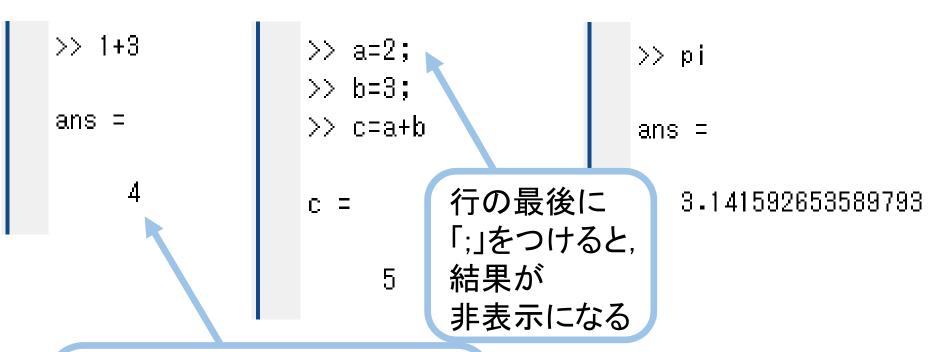
コマンドウィンドウとは?

- コマンドウィンドウは、MATLABでの計算やプログラムの実行結果、エラーメッセージの表示、変数の表示や操作などに利用されます。
- コマンドウィンドウはわざわざプログラムとして記述するほどでもない簡単な計算を行う際や変数の表示、操作を行う際に使用することが多いです。

①コマンドウィンドウ

コマンドウィンドウでの基本的な操作

コマンドウィンドウにコマンドを打ち込み、Enterキーを押すことでコマンドやプログラムを実行することができます。



代入操作以外の実行結果は、「ans」という変数に格納される

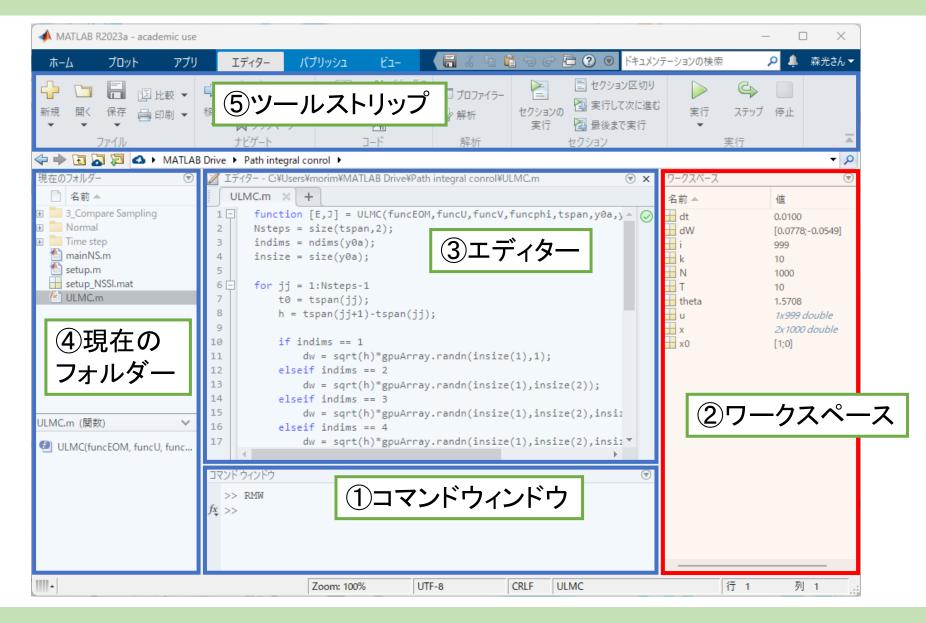
(1)コマンドウィンドウ

```
\Rightarrow a=[1 2 3]
a =
\Rightarrow b=[4;5;6]
b =
        5
```

大文字と小文字は 区別される

列の区切りは「」もしくは「,」 行の区切りは「;」

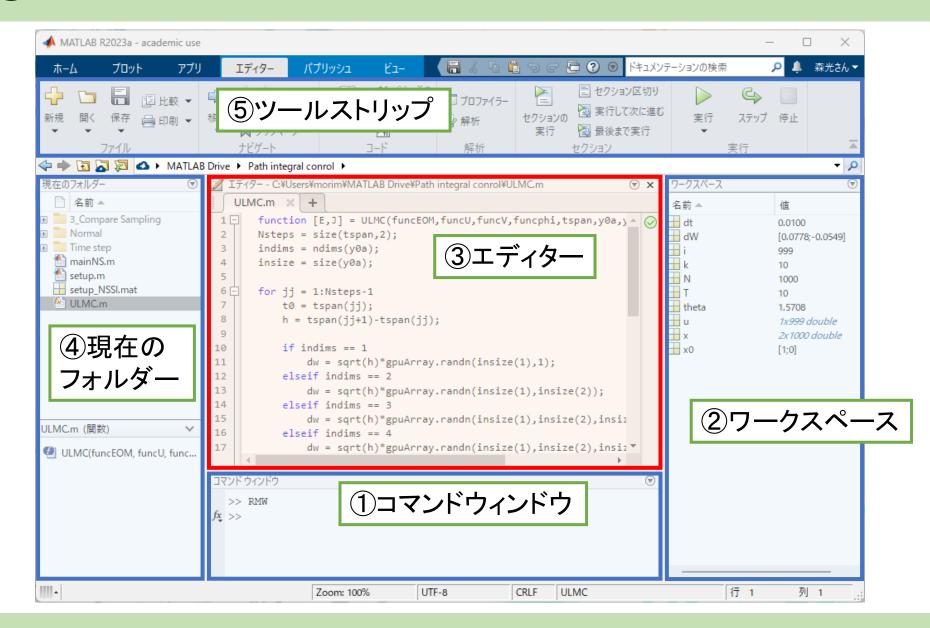
②ワークスペース



②ワークスペース

- ワークスペースには、現在のMATLABセッションにおいて 定義されたすべての変数が表示されます。
- ワークスペースにある変数はclearを行うか、 MATLABを終了しない限り残り、以降の計算に使用可能です。
- ワークスペースにある変数をMATLAB終了後に保持する場合, データを保存する必要があります.

③エディター



③エディター

実際の作業ではいちいちコマンドウィンドウに打ち込むのは面倒だし、編集ができない



「****.m」(M-ファイル)を作ると,

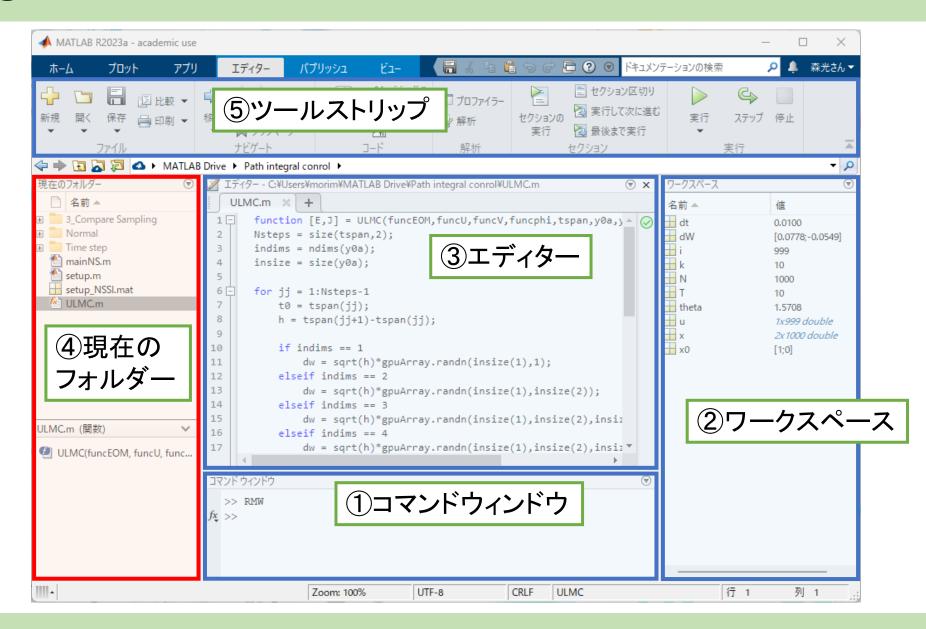
ファイルの内容がコマンドラインから実行できる.

様々な処理をまとめて、ひとつの関数として定義することができる

手順

- 1. エディターを開く
- 2. 関数を書く
- 3. 保存して実行、確認する

④現在のフォルダー



④現在のフォルダー

現在のフォルダーとは、MATLABで作業中のフォルダーを示しています. MATLABではこの現在のフォルダーからファイルを読み込んだり、書き込んだりします.

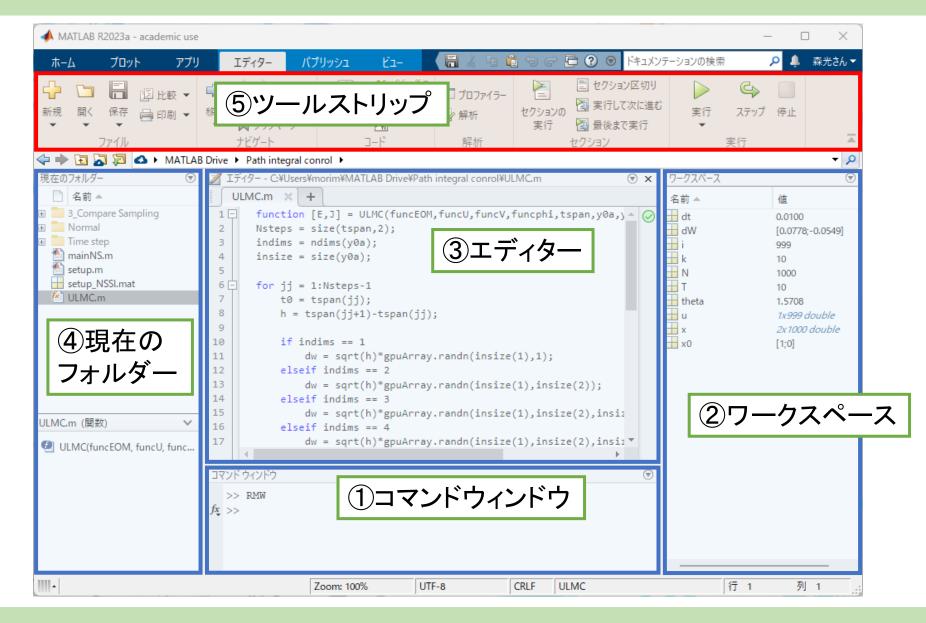
• プログラムの保存



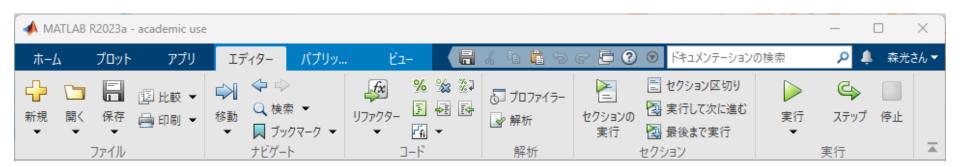
 フォルダーの作成 振り返りができるように, 日付ごとにフォルダーを作成し, 前回のフォルダーを コピーしてから編集するとよい.

名前	更新日
200427	2020/0
200428	2020/0
200429	2020/0
200430	2020/0
200501	2020/0
200502	2020/0
200504	2020/0

⑤ツールストリップ



⑤ツールストリップ



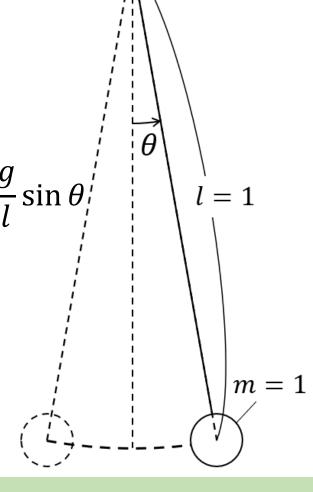
- MATLAB上部にあるメニューバー
- ファイルを開いたり、プログラムを実行したりするのに使うことが 多い

常微分方程式(Ordinary Differential Equation, ODE)を解く

例)単振子の非線形微分方程式をODEの 数値解法で解く

$$\frac{d^2\theta}{dt^2} = -\frac{g}{l}\sin\theta$$
 一階微分方程式に 変換

非線形微分方程式は解析的に解く方法が存在しないため数値解法を用いる



- 1 %% Reset
- 2 clear % clear variables
- 3 close % close figure windows

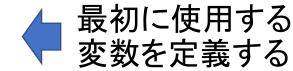


変数を全部削除し、

開いている図を閉じる

4

- 5 %% Input problem settings
- 6 I = 1; % pendulum length[m]
- 7 g = 9.80655; % gravitational acceleration[m/s^2]



"ode45"というMATLABにある

ODEを数値計算する関数を使う

- 8 T = [0,5]; % simulation time[s]
- 9 x0 = [1;0]; % initial condition

10

11 0/0/ C:----l-+-

11 %% Simulate

12 [tspan,x] = ode45(@(t,x) eq_pend(t,x,l,g),T,x0); % solve ODE

13

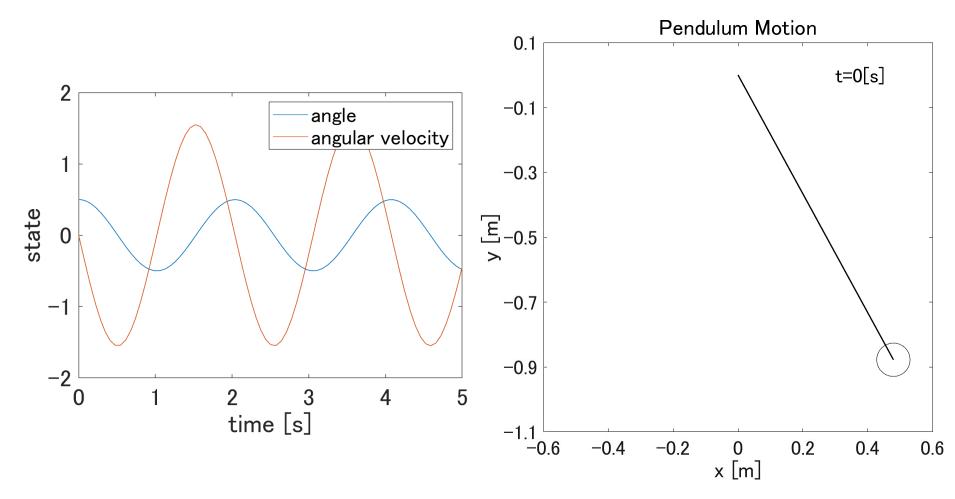
- 14 %% plot
- 15 plot(tspan,x) % plot a result

27

end

```
14 %% plot
   plot(tspan,x) % plot a result
   legend("angle", "angular velocity") % show legends
                                                       得られた結果を使って
   xlabel("time [s]") % show a horizontal axis label
                                                       図を作成する
   ylabel("state") % show a vertical axis label
19
20
   %% save
   save("result.mat","tspan","x"); % save a result (numerical data)
   savefig("result.fig"); % % save a result (figure data)
                                                             計算結果, 図を
23
                                                              保存する
   %% function
   function dxdt = eq_pend(t,x,l,g) % write ODE
  dxdt = [x(2); -g/l*sin(x(1))];
```

結果



ode45の説明

```
[tspan,x] = ode45(@(t,x) eq_pend(t,x,l,g),T,x0); function \ dxdt = eq_pend(t,x,l,g) dxdt = [x(2);-g/l*sin(x(1))]; end
```

[評価点, 解] = ode45(解を求める関数, 積分区間, 初期条件)

【解を求める関数】

- 関数ハンドル(@をつける)を用いる.
- @の後ろにある()の中の引数(t,x)をそのままに関数として渡す.
 odeのプログラムの中で代入し、計算を行う.
- ()の中にない引数(I,g)はここで値を代入する.

ode45の説明

```
[tspan,x] = ode45(@(t,x) eq_pend(t,x,l,g),T,x0); function \ dxdt = eq_pend(t,x,l,g) dxdt = [x(2);-g/l*sin(x(1))]; end
```

[評価点, 解] = ode45(解を求める関数, 積分区間, 初期条件)

【積分区間】

- 積分区間を $[t_0,t_f]$ の順に指定する.
- $[t_0, \cdots, t_f]$ のように3つ以上指定した場合、指定した点でのみ値を返す。

関数の調べ方

関数の説明はMathWorksのサイトで調べると出てくる

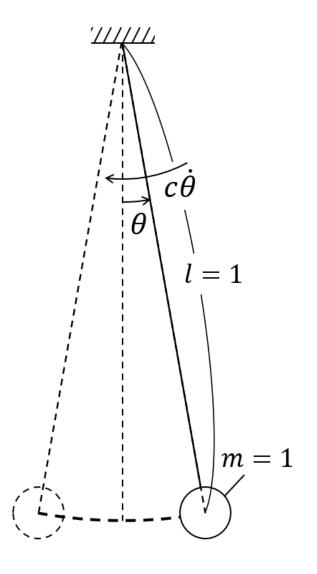


演習

先ほどの振り子に摩擦抵抗を追加した 右の図のような振り子の時間履歴をプロット してください. ただし, シミュレーション条件は 以下のようにします.

- 摩擦抵抗c = 0.3
- 評価点は0から10秒までの間を0.1秒刻み
- 初期状態は $\theta = 1$, $\dot{\theta} = -0.1$

Tips: 0から10までを0.1で刻んだ行列を 作るには、"0:0.1:10"と入力するとよい

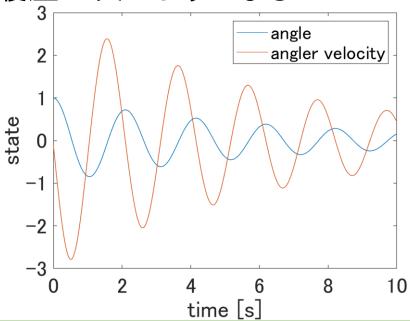


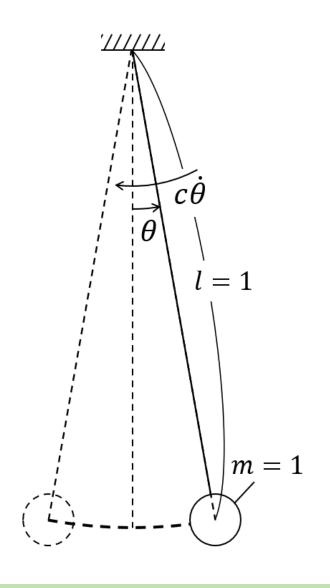
演習

ODEは次のようになる.

$$\begin{cases} \frac{d\theta}{dt} = \dot{\theta} \\ \frac{d\dot{\theta}}{dt} = -c\dot{\theta} - \frac{g}{l}\sin\theta \end{cases}$$

時間履歴は次のようになる.





参考になるサイト

- MathWorksのサイト
 - 関数の説明のほか、参考となるプログラムも例として公開されている
- Qiita
 - プログラムが説明付きで見つかる
- GitHub
 - 膨大な数のプログラムが公開されている
 - ソースコードを見れない(暗号化されている)場合がある
 - 詳しくは塩塚君に聞いて
- ChatGPT
 - 書いてほしいプログラムを説明してMATLABで書いてというと、書いてもらえる
 - よくある問題は正確に書いてくれるが、マイナーな問題は無理
 - ChatGPTに練習問題を作ってもらうこともできる

MATLAB課題

- 全6問を1人1人に割り当てる
- MATLABでプログラムを作成し、その結果をプレゼンにまとめて ゼミで発表する
- 発表時間は1人8分程度で発表後に質疑応答を行う
- 問題は以下の6つ
 - Van der Pol方程式の解析
 - Lorenz方程式の解析
 - バネ・マス系に振子を取り付けたものの運動
 - 二重振子の運動
 - 倒立振子の制御
 - 2自由度ばねますダンパ系の運動

Van der Pol方程式の解析

非線形力学系であるVan der Pol方程式は次式で表される.

$$\ddot{x} = \mu(1 - x^2)\dot{x} - x$$

この方程式について以下の問いに答えよ.

- 1. Van der Pol方程式に4つの異なる(自分で決めた)初期状態を与えて、数値的に解け、ただし、odeを用いること.
- 2. 平面をメッシュ状に分割し、各メッシュの点における速度、加速 度を計算せよ.

Lorenz方程式の解析

右の連立方程式はLorenz方程式という.

この Lorenz方程式に関して以下の問いに答えよ. ただし, 必要なパラメーター, シミュレーション条件は各自で設定すること.

- 1. Lorenz方程式をodeを用いて解け.
- 2. 1の結果をxy, yz, zx平面にそれぞれプロットせよ.
- 3. 時間と共に1の結果がどう変化するかを3次 元空間上に示した動画を作成せよ.

$$\frac{dx}{dt} = -px + py$$

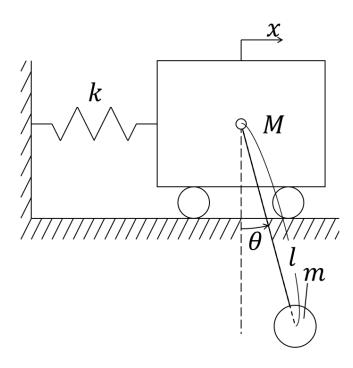
$$\frac{dy}{dt} = -xz + rx - y$$

$$\frac{dz}{dt} = xy - bz$$

バネ・マス系に振子を取り付けたものの運動

図に示すようなバネ・マス系に振子を取り付けたものを考える. 必要なパラメーター, シミュレーション条件は各自で設定し, ode を用いること.

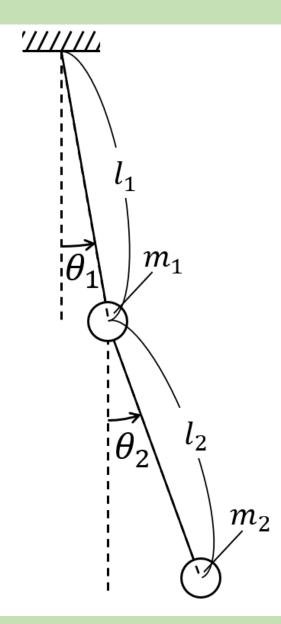
- 1. 状態方程式を求めよ.
- 2. 適当な初期状態を与え、状態方程式を odeで解き、その結果をグラフで示せ.
- 3. 2の運動の様子を動画に示せ.



二重振り子の運動の様子

図に示すような二重振り子を考える. その際に 糸はたるまないものとし, 各物理量や必要なシ ミュレーション条件は各自で与えてよい.

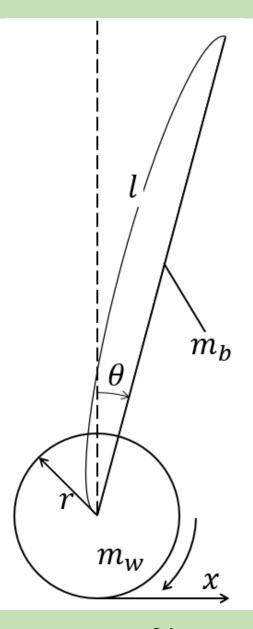
- 1. 二重振り子の運動方程式を求めよ.
- 2. 1つの初期値において、求めた運動方程式 をodeを用いて解き、それぞれの角度、角速 度の変化をグラフで示せ.
- 3. 2における初期値を微小にずらした初期値を 100通り用意し、時間履歴をodeで求め、二 重振り子の運動の様子を示す動画を作成せ よ. その際に、1つ1つが見分けのつくように エ夫すること.



倒立振子の運動の様子

図に示すような倒立振子を考える. 必要なパラメーターは各自で設定し, odeを用いること.

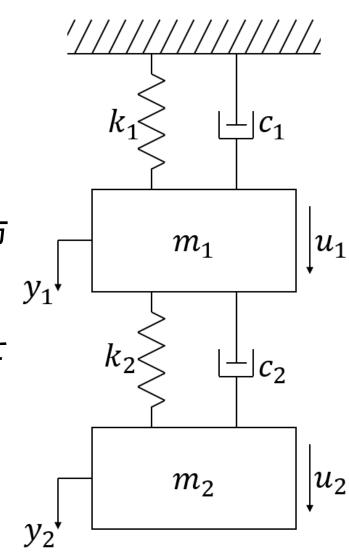
- 1. 倒立振子の状態方程式を求めよ.
- 2. 平衡点(θ = 0)まわりで線形化した状態方程式を求めよ. また, ある初期値からの制御問題を考え, 平衡点への制御入力を求め, その制御入力を加えた際の状態履歴を求めよ.
- 3. 2の際の倒立振子の様子を表す動画を作成せ よ.
- 4. 線形化前の非線形な運動方程式に2で求めた 制御入力を加えた際の状態履歴を求めよ.



2自由度系の振動の様子

図のような2自由度のバネ・マス・ダンパ系を考える。必要なパラメーター、シミュレーション条件は各自で設定せよ。

- 1. このシステムの状態方程式を導出せよ.
- 2. ある初期値からの状態履歴を求め,グ ラフで示せ. ただし,odeを用いて状態方 程式を解くこと.
- 3. 2の状態履歴を用いて, バネ・マス・ダン パ系の運動の様子を表す動画を作成せ よ.



スライド作成に当たって

- 課題には画像や動画の出力を求める問題があるが、ただこれをこなすだけでなく、プレゼンを行うのを念頭に置き、聴衆がわかりやすいようにする。
- 画像や動画を出力する際には、軸のキャプション等文字の大き さに注意する。
- 課題で挙げたもののほかにも各自で追加で検証や画像,動画の作成を行い,よりわかりやすく内容の深いプレゼンにできるとよい。
- 質疑応答の際に予想される質問等に関しては、あらかじめ説明 用のスライドを後ろに用意しておくと、答えやすい。
- MATLAB課題やプレゼンでわからないことがあったり、アドバイスが欲しかったりする場合は、先輩に遠慮せずに聞いて下さい!